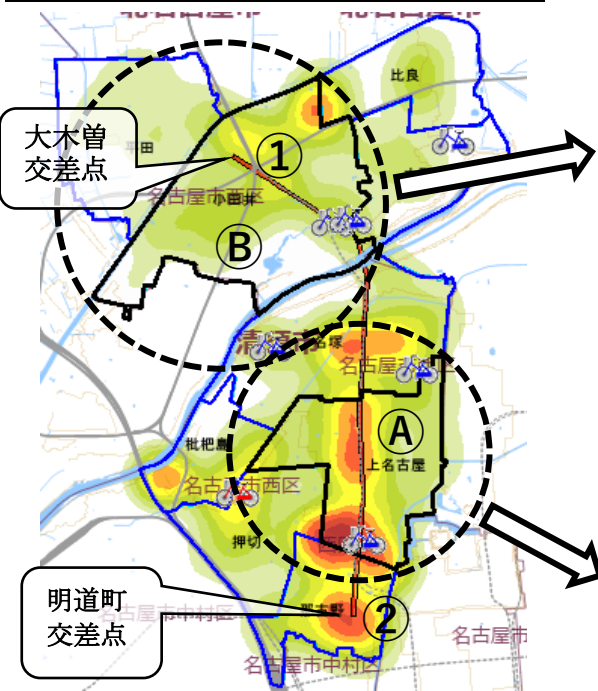


令和8年度 自転車指導啓発重点地区及び路線 西警察署

自転車事故件数			
区分	西警察署 管内		
	R5.1 ~R7.12	重傷事故	死亡事故
自転車関連事故	413	6	1

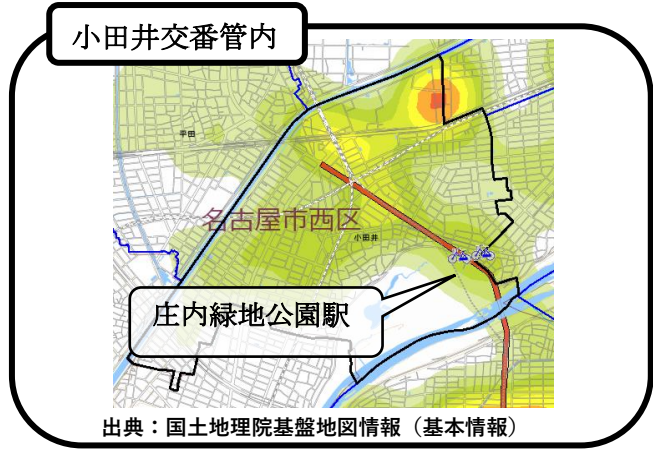


出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

凡例

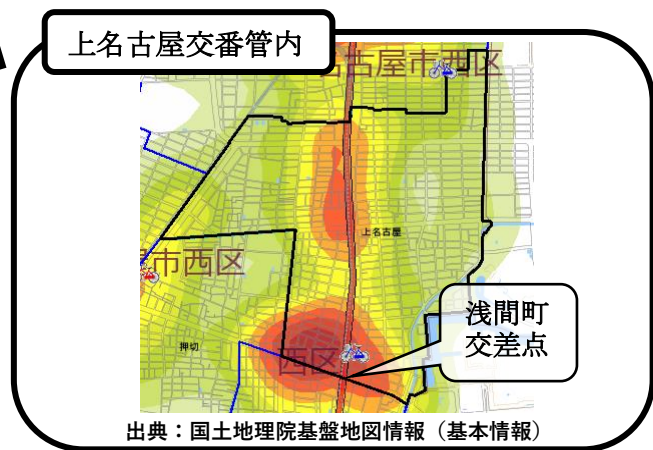
- 自転車事故密度分布
- 自転車指導啓発重点地区
- 自転車指導啓発重点路線
- 重傷事故発生場所
- 死亡事故発生場所

① 主要地方道名古屋江南線		
大木曾 交差点	～	浅間町 交差点 5,190 m
選定理由		
路線区間での自転車事故の件数が昨年と比較して9件増加しており、他路線よりも増加率が高い。さらに路線区間には地下鉄駅が5つあり、自転車通勤者が多く、自転車事故の発生も多いため。		
② 主要地方道江川線		
浅間町 交差点	～	明道町 交差点 640 m
選定理由		
主要地方道名古屋江南線の延長路線であり、昨年と比較して自転車事故の件数が増加しており、特に明道町交差点周辺での事故が多発している。また、名古屋駅にも近く、通勤等での自転車利用者が多いため。		



出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

①	【重点地区】
小田井交番管内	
選定理由	
管内で2番目に自転車事故が多いエリアであり、自転車利用者が多く訪れる大型商業施設や駅などもあることから継続して対策が必要であるため。	



出典：国土地理院基盤地図情報（基本情報）

②	【重点地区】
上名古屋交番管内	
選定理由	
近年死亡事故の発生はないが、重傷事故の発生があり、自転車事故が管内で最も多く発生しているエリアである。また、高齢者も多数居住する地域であることから継続して対策が必要であるため。	

**この地区でよく見られる**  
**自転車利用者の違反形態**

- 前方・左右に対する安全不確認
- 指定場所一時不停止
- 漫然運転等の前方不注意